



30th Program

第30回京滋奈良ハートリズム研究会プログラム

平成27年5月23日 メルパルク京都 【6F会議室C】

■ 14:45 会の辞 滋賀県立成人病センター 竹内 雄三

※一演題につき15分（口述時間10分/質疑応答5分）

■ 14:50~15:35 一般演題 < I >

座長 綿貫 正人【彦根市立病院】

I-A 『僧帽弁輪前壁側での通電により根治した左脚ブロックパターン 心室性期外収縮(PVC)の一症例』

彦根市立病院：相本 晃、綿貫正人、佐藤祐介、真鍋奈緒美、池田智之、
宮澤 豪、下司 徹、中野 顕、日村好宏

I-B 『Riata™ ICD リードの断線によるノイズを心室細動と誤認するも、 SecureSense™にて不適切作動の回避に成功した Brugada 症候群の一例』

国立病院機構 京都医療センター 循環器内科 1) :

国立病院機構京都医療センター臨床研究センター展開医療研究部 2) :

小川 尚 1)、安 珍守 1)、手塚祐司 1)、高木大輔 1)、鞆木 崇 1)、
石井 充 1)、井口守丈 1)、益永信豊 1)、和田啓道 2)、
長谷川浩二 2)、阿部 充 1)、赤尾昌治 1)

I-C 『moderator band 起源の心室頻拍の一例』

滋賀県立成人病センター：井上 豪、竹内雄三、岸森健文、関 淳也、
西尾壮示、犬塚康孝、武田晋作、岡田正治、羽田龍彦、
小菅邦彦、池口 滋

■ 15:35~15:45 休 憩 (10分)

■ 15:45~16:45 一般演題 < II >

座長 貝谷 和昭【天理よろづ相談所病院】

II-A 『長期持続性心房細動へのカテーテルアブレーション後に認めた心房頻拍 に対して左房後壁隔離が有用であった一症例』

神戸市立医療センター中央市民病院：佐々木康博、小堀敦志、石橋健太、
中嶋正貴、伊藤慎八、笠本 学、村井亮介、金 基泰、山根崇史、北井 豪、
江原夏彦、木下 慎、加地修一郎、古川 裕

II-B 『異なるメカニズムの肺静脈起源心房頻拍の二例』

天理よろづ相談所病院：黒田真衣子、貝谷和昭、芳川裕亮、今村沙梨、大西尚昭、
泉 知里、中川義久

天理よろづ相談所病院 臨床病理部：安田健治、杉村宗典

II-C 『Box isolation + 左房峡部アブレーション後に生じた心房頻拍に
Marshall vein を介した峡部伝導が関与していた一例』

奈良県立医科大学：奈良県立医科大学 循環器腎臓代謝内科

西田 卓、滝爪章博、上田友哉、尾上健児、添田恒有、岡山悟志、
竹田征治、渡邊真言、川田啓之、川上利香、大倉宏之、斎藤能彦

II-D 『慢性心房細動の治療戦略：自験例と理論的見地から』

滋賀医科大学循環器内科不整脈センター：坂田憲祐、小澤友哉、芦原貴司、
藤居祐介、服部哲久、伊藤英樹、杉本喜久、伊藤 誠、堀江 稔

■ 16：45～17：00 休 憩（15分）

■ 17：00～18：00 特別講演

座長／竹内 雄三 滋賀県立成人病センター

『心房細動に対するカテーテルアブレーション
～その治療戦略と局所電位解釈～』

土浦協同病院 循環器内科

宮崎 晋介 先生

■ 18：00～19：00 情報交換会 と機器メーカー展示会

メルパルク京都 【 6F会議室D 】